

記者発表資料
 平成19年2月21日
 健康福祉局保健政策課長
 鈴木 紀之 Tel1671-2436
 アスベスト対策会議事務局
 環境創造局環境管理課長
 橋 一秀 Tel1671-2474

旧朝日石綿工業横浜工場に係る石綿問題について

2月8日、エーアンドエーマテリアル社が発表した、旧朝日石綿工業横浜工場（鶴見区）周辺住民のアスベスト検診の結果を受け、受診先である横浜労災病院と県立循環器呼吸器病センターに問合せを行い、その結果がまとまりました。

1 病院への調査項目

アスベスト専門外来受診者のうち「旧朝日石綿工業横浜工場周辺住民」と把握している方について、年代別、性別、所見の有無、所見ありの方の診断名、本人や家族の職業歴について問い合わせました。

2 病院調査結果

平成18年12月末までの受診者は54名で、胸膜肥厚斑の所見があった方は28名、そのうち4名は、本人又は家族に石綿関連の職業歴がありました。その他24名は、本人又は家族に石綿関連の職業歴がないことが分かりました。

	30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		小計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
受診者数	0	2	2	2	7	4	7	10	10	10	26	28	54
	2		4		11		17		20		54		
所見あり	0	0	0	0	3	3	4	4	8	6	15	13	28
所見無し	0	2	2	2	4	1	3	6	2	4	11	15	26

3 本市の対応

石綿関連の職業歴のない方で、胸膜肥厚斑の所見のある方が多く確認されたことから、一般環境経路による石綿ばく露の可能性があった方に対する「健康リスク調査」として、早急に調査の範囲等を確定した上で環境省と調整し、国の調査として実施する方向で検討します。

*環境省実施の「健康リスク調査」は、労働災害や労働者家族以外の健康被害者が報告された地域で、石綿曝露の可能性があった者を対象に、「問診、胸部X線及び胸部CT検査等」を継続実施し、石綿ばく露の地域的広がりや石綿関連疾患の発症リスクに関する実態を調査するもの。

<参考>

1 (株)エーアンドエーマテリアル

- ・平成12年、(株)アスク(旧朝日石綿工業)と浅野スレート(株)が合併して発足
- ・朝日石綿工業横浜工場：大正13年開設、アスベスト建材等を昭和50年まで製造
所在地：鶴見区鶴見中央2丁目(現 公団住宅)
- ・企業の社会的責任として周辺住民のアスベスト検診費用を負担している。(H18.5～)

2 胸膜肥厚斑(きょうまくひこうはん)

胸膜肥厚斑(胸膜プラーク)は、肺にある胸部の内面の胸膜が斑状に厚くなったもので、両側で起こり、しばしば石灰沈着を伴います。これは、石綿吸入による特徴的な変化です。

良性的変化であり、軽度であれば自覚症状もないことがほとんどで、経過は良好です。ただし、広範囲で生じると肺の動きが制限され、活動時に呼吸困難が出る場合があります。